泌尿紀要　第5巻 第1号　昭和34年1月25日印刷　昭和34年1月31日発行（毎月1回　月末発行）

Vol. 5, No. 1　Acta Urologica　January, 1959

# 泌尿器科紀要

第 5 巻　第 1 号　昭和35年1月

随想　勤務医に関すること……山田瑞穂… 1
尿路結石症の研究
第1編　尿膠質に関する研究……大堀　勉… 3
尿路結石症の研究
第2編　グリセリンによるチビオン結石形成予防について……大堀　勉… 12
所謂特発性腎出血に関する研究
第V篇　自律神経系に関する臨床的並びに実験的研究……仁平寛巳… 19
女子尿道撮影法……後藤　薫・日野　豪・粉川雅美・大谷幸郎… 40
非上皮性良性膀胱腫瘍……杉村克治・新海圭一… 45
含トリウム造影剤の長期遺残による障碍について……仁平寛巳・酒徳治三郎・杉山喜一・足立　明… 49
不完全重複尿道の1例……柏井浩三・丸毛博昭… 55
泌尿器科領域に於ける Oleandomycin ……重松　俊・鮫島　博… 58
編集後記・購読要項・投稿内規…… 64

Studies on Urolithiasis.
Chapter I : A Study on Urinary Colloid. …… T. Ōhori… 3
Studies on Urolithiasis.
Chapter II : Prevention of the Formation of Conteben Calculi by Glycerin.
…… T. Ōhori…12
Studies on So-called Essential Hematuria.
Report V : Clinical and Experimental Studies on the Autonomic Nervous System.……H. Nihira…19
Urethrography in Females.…… K. Goto, T. Hino, T. Kokawa and S. Ōtani…40
Benign Nonepithelial Tumors of Bladder.…… K. Sugimura and K. Shinkai…45
Delayed Casualty of Thorium Containing Contrast Media.
…… H. Nihira, J. Sakatoku, K. Sugiyama and A. Adachi…49
A Case of Incomplete Double Urethra.…… K. Kashiwai and H. Marumo…55
Oleandomycin in Urology. ……S. Shigematsu and H. Sameshima…58

京都大学医学部泌尿器科教室
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Japan.
Editor : Prof. Tsutomu INADA

泌尿紀要
Acta Urol.

## 編 集 後 記

第2回泌尿器科関西地方会が去る11月29日和歌山市にて開かれた．参会者約80名，演題数20にて，文字通り泌尿器科専門家ばかりの意義の多い，うちとけて親し味のある学会であつた．この学会が誕生したことを益々祝福する気持になつた．

◇

第50回東海地方会が名大泌尿器科開講15周年記念として12月7日に名大にて行われた．一般演説は10題で，記念講演として岐大近藤教授の前立腺結核，名市大岡教授の水腎症，名大清水教授の腎固定術，三重大矢野教授の前立腺腫瘍の合併症があり，次で特別講演として楠教授のInter-sex，稲田教授の最近の尿路結核，市川教授のカナマイシンが述べられた．この学会も泌尿器科ばかりであり，また講演に重点が置かれており，おちついた有意義な学会であつた．特に名大から公開せられたX線テレビの供覧は，我々の思いがけぬ進歩したものであつて，驚かされた．

◇

わが国に於ける専門医制度の問題は数年前から論議せられるに至つたが，当初の厚生省案は種々の欠点を含んでいたために，主として学界から拒否せられた．ところが最近に至つて再びその調査会が発足したようである．これは最初のものと構想を異にし，新しい観点から出発するものとの立て前であるようだが，その基盤や規模にはあまり変りばえがないようであるから，充分慎重に事を運んでほしいものである．泌尿器科学会としては最初の専門医制度案には不賛成で，時期尚早との態度をとつたのであり，それは当然のことであつたと思う．然しいつまでもこの問題を放置しておくのもどうかと思われる．厚生省，医師会，他の学会などの案とは無関係に，泌尿器科学会として独自の立場から，泌尿器科専門医の問題を，この辺でとりあげて，充分に検討してみることも無駄ではなかろうと思う．

◇

また新らしい年を迎えた．今年は日本医学会も開催せられる．その他に大小の多くの学会も迎える．学界にも医療問題にも大きな期待をもつて進んでゆこう．

### 購 読 要 項

1. 発行は毎月（年12回）とする．年間購読者を以て会員とする．
2. 会員は年間料金 1,000円を前納する．1冊料金100円，払込みは振替口座番号京都 4772番泌尿器科紀要編集部，或は第一銀行百万遍支店．
3. 入会申込みは氏名（フリガナ），住所（雑誌郵送先），勤務先，職地位，自宅開業の別，送金方法を御記入の上編集部宛．

### 投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説，原著，臨床報告，その他．寄稿者は年間購読者に限る．
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする．
3. 原稿は横書き，当用漢字，平仮名，新仮名使いを用い．片仮名には括弧を要しない．400字詰原稿用紙を用いること．附表，附図はなるべく欧文にすること．
4. 文献の書式は次の如くする．著者名：誌名，巻数：頁数，年次．

例．中野：泌尿紀要，1：110，昭30．Lazarus, J. A. J. Urol., **45**：527, 1941.

5. 300語以内の欧文抄録を記し，之には欧文の標題，所属機関名，ローマ字著者名を附け，なるべくタイプライターを用いること．希望の場合は当編集部にて飜訳します．抄録用の原稿を送ること．飜訳の実費は申受く．
6. 掲載料は4頁迄毎頁 500円，それ以上の頁，アート頁，図表，写真は実費を申受ける．別冊20部を無料贈呈．それ以上は実費を徴収する．この場合には予め希望部数を申込むこと．特別掲載も考慮する．
7. 校正は編集者が行うが希望により著者校正とする．
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院　京都大学病院　泌尿器科紀要編集部